

# 学校教育目標

## 1 教育目標

自己の将来の進路について、自分で考え、自分で判断し、自分の責任で選択できるとともに、他者を尊重し、思いやりのある生徒を育成する。

## 2 教育方針

- (1) 単位制の特性を最大限にいかし、生徒一人ひとりの個性の伸長に努める。
- (2) 興味・関心、能力・適性や進路などに応じ、自ら学習計画を立て積極的に学習に参加する個性豊かな生徒を育成する。
- (3) 自由と責任を重んじ、自らの意思で生活規範を守るとともに、自分とは異なる意見に十分耳を傾け、他者を尊重し思いやりのある生徒を育成する。
- (4) 豊かな人間性や社会性を身につけ、時代の変化に柔軟に対応できるたくましい生徒を育成する。

## 3 経営方針

- (1) 職員一人ひとりの指導力を最大限に発揮し、全職員が一体となって課題解決に努める。
- (2) 保護者や地域社会と連携を深め、信頼される特色ある学校づくりに努める。
- (3) 校内研修を計画的に実施し、教師としての使命感・倫理観及び指導力・実践力の向上に努める。
- (4) 報告・連絡・相談をとおして情報の共有化を図り、全職員の協力体制のもとに活気に満ちた学校づくりに努める。
- (5) 企業と連携し、社会が求める人材の育成に努める。

## 4 重点努力事項

### (1) 学習指導の充実

- ① 科目展示会などの履修ガイダンスの充実を図り、主体的に学ぶ態度を育てる。
- ② 多様な指導方法を研究し、シラバスの充実を図るとともに、わかる授業を実践し学力の向上を図る。
- ③ 学力向上を目指し、校内実力テストや課外講座などを積極的に実施する。
- ④ 対外的な競技会や発表会などへの参加や各種の資格取得を積極的に奨励する。
- ⑤ 各教科・科目の授業の延長として、校内外の発表会等の開催を積極的に奨励する。
- ⑥ 図書館の蔵書を生徒や時代が求める内容に替え、生徒一人ひとりの読書量の向上を図る。
- ⑦ 支援企業の開拓を図り、生徒の学習発表の場とする。

### (2) 進路指導の充実

- ① 生徒一人ひとりが自己の個性に気づき主体的に進路を選択する能力、態度を育成するキャリア教育の充実を図り、進路の早期決定を促す。
- ② 進路に関する情報を全職員が共有し、出口指導の充実を図り、進路決定率90%以上を目指す。
- ③ 企業、事業所等の関係機関と連携を深め、就業体験を充実するとともに望ましい職業観や勤労観を育てる。
- ④ PTA・同窓会、県内企業と連携し進路研修会などを開催するとともに、生徒・保護者の進路に関する意識の高揚を図る。

### (3) 生徒指導の充実

- ① 基本的な生活習慣を確立するとともに、場にふさわしい身なりを自分の責任で選択できる能力を育成する。
- ② 勤怠状況の改善を図るとともに身なりの指導を充実するため、計画的な年次集会を実施する。
- ③ 生徒会活動やホームルーム活動の活性化を図り、成就感や達成感を味わえる学校行事を行う。
- ④ 部活動やボランティア活動を積極的に奨励する。部活動の加入率を向上させる。
- ⑤ 警察や保健所など関係機関と連携を深め、深夜徘徊や禁煙支援などの指導を徹底する。

(4) 健康教育の充実

- ① 健康診断や健康相談を充実し、生徒・職員の健康の増進を図る。
- ② 保健所や警察などの関係機関と連携を深め、禁煙支援や薬物乱用防止など指導を推進する。
- ③ 歯科、内科に係る健康状態を把握し、健康教育の改善に役立てる。

(5) 学校改革の推進

- ① 単位制におけるコース制を検証し、教育課程の見直しを図る。
- ② 校区内の中学校を積極的に訪問し、本校の特色ある教育システム等の理解を求めるとともに、本校への要望等を適切に把握する。
- ③ 計画的にオープンスクールを実施し、入学定員の確保に努める。
- ④ 集中講座開設、高卒認定など学外取得単位の認定等など多様な教育課程の工夫、検討を行う。
- ⑤ 校内規定の整備を進める。

(6) 教育相談の充実

- ① 全職員が生徒の多様な個性や能力などを多面的に評価するとともに、受容的な態度で接し共感的な理解を深める。
- ② 自らの生き方を自らの力で選択できるように最大限の援助を行う。
- ③ 全職員が積極的に校内巡視、家庭訪問や個人面談を行い生徒の悩みを把握するとともに、授業参加の手助けを行い、中途退学者を30名以内に減少させる。
- ④ 特別な支援が必要な生徒については、保護者や関係機関と積極的に連携し適切なカウンセリングを行う。
- ⑤ 学校の健全な運営について、家庭、保護者の理解を深め、計画的に校納金の納入を促す。

(7) 教職員の資質の向上

- ① 各種研修会への参加や各教科、各部など校内研修会の開催を奨励するとともに、教職員評価システムを活用し全職員が自己の資質向上を目指す。
- ② 防災訓練、不審者対応訓練や応急処置講習会などを開催し、危機管理能力の向上を図る。

(8) 環境及び施設設備の整備促進

- ① 単位制としてそれぞれのコースの特性が十分発揮できるよう施設設備の改善を図る。
- ② 老朽施設の改築と学科設置に伴い、施設設備マスタープランを策定する。
- ③ 計画的に校内緑化を推進し、緑化コンクールなどへ積極的に応募するとともに、全職員・全生徒が花づくりに関わる雰囲気をつくる。

(9) 保護者及び地域との連携強化

- ① 卒業生や地域人材など外部講師を積極的に活用するとともに、学校評議員による会議の一層の充実を図り開かれた学校づくりを進める。
- ② 内部評価や外部評価の充実を図り学校経営の改善に役立てる。
- ③ 保護者との連携を深め、PTA 総会の参加者の拡大を図る。
- ④ 支援企業の拡大を図る。